

# みのお山麓保全活動助成金 活動報告会 2026.6.28

## < トラスト活動 > 人工林の広葉樹林化 林相転換計画の試み

ネイチャーおおさか  
公益社団法人  
大阪自然環境保全協会





# 山林など 土地トラスト活動



名張・箕面・丹波篠山の山林など5カ所計18,000㎡

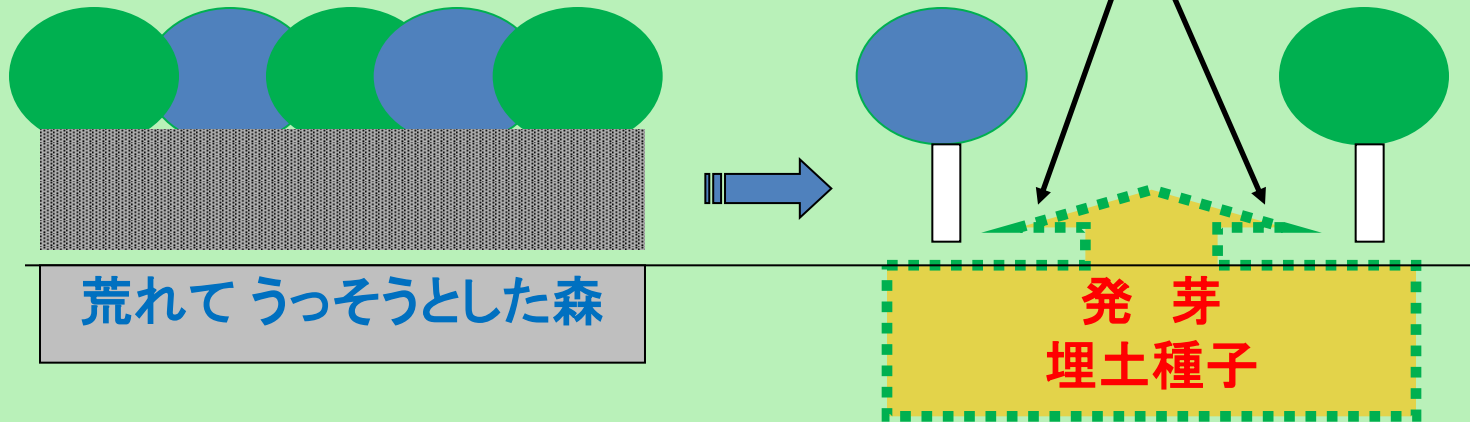


# 林相転換・・・光届かず 荒れた里山...広大に



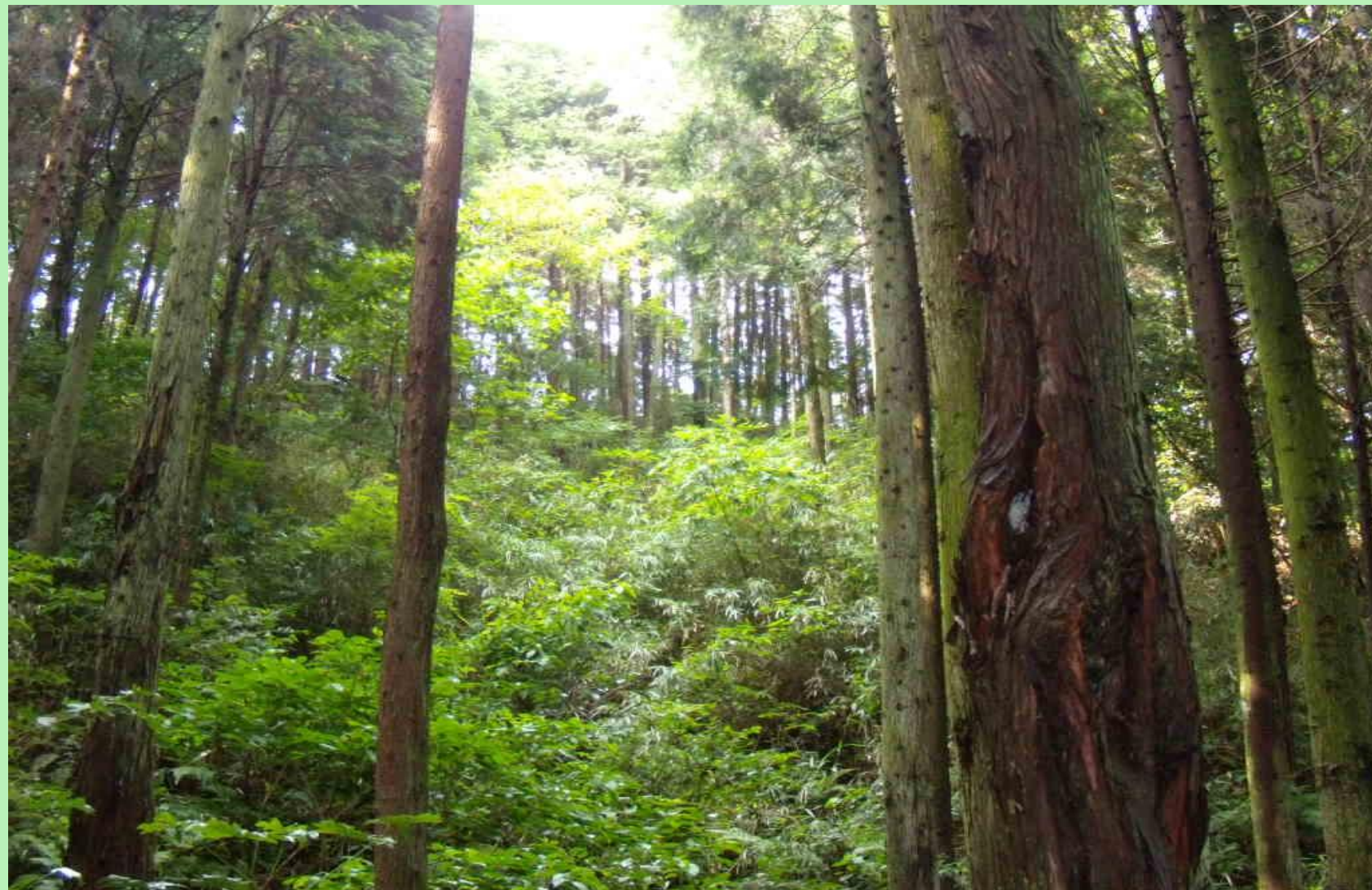
# [ 生物多様性 ] 保全 のキーワードの一つ 「 里地里山保全 」 の…メカニズムは…

自然に対する人間の働きかけの縮小により  
里地里山の森林がうっそうとして荒れ  
自然度・生物多様性が低下



適度に 植生に手を入れ  
明るい森林に戻して植生の多様性をアップし  
自然度・生物多様性を向上させる

太陽光が届くと…埋土種子が！



# 里山〈森林表土〉を蒔くと……



発芽年	Site	総数	アカメ ガシワ	ヌルデ	シリブカ ガシ	ヒサカキ	リョウブ	ソヨゴ	その他
2004年	A	182	64	46	30	0	0	0	42
	B	133	52	20	40	0	0	0	21
2005年	A	36	0	7	4	2	7	3	13
	B	54	7	1	10	1	6	6	23
2006年	A	55	5	1	2	21	17	7	2
	B	14	2	0	1	0	2	7	2
2007年	A	19	1	2	0	9	4	1	2
	B	11	1	7	0	1	0	0	2
2008年	A	19	0	0	0	12	2	1	4
	B	14	0	12	0	2	0	0	0
2009年	A	11	0	2	1	6	2	0	0
	B	10	2	2	2	1	0	0	3
2010年	A	17	6	6	0	2	1	0	2
	B	4	1	1	0	2	0	0	0
04~10年	A	339	76	64	37	52	33	12	65
	B	240	65	43	53	7	8	13	51

**木本 22種**

**草本 104種**

アカザ、アキノノゲシ、アメリカイヌホオズキ、アメリカセンダングサ、アレチヌスビトハギ、アレチマツヨイグサ、イヌガラシ、イヌタデ、イヌホウズキ、ウシハコベ、ウラジロチチコグサ、ウリ科sp、エノキグサ、オオアレチノギク、オニタビラコ、オランダミナグサ、カスマグサ、カタバミ、カラスノエンドウ、キイチゴ属sp、キク科sp、キュウリグサ、クサイチゴ、クズ、コセンダングサ、コナスビ、コメツブウマゴヤシ、サルトリイバラ、シソ科sp、スズメノエンドウ、セイタカアワダチソウ、タチイヌノフグリ、タデ科sp、タネツケバナ、ダンドボロギク、タンポポ属sp、チチコグサsp、チチコグサモドキ、ドクダミ、トゲジシヤ、ナルトサワギク、ニガナ、ノイバラ、ノゲシ、ノブドウ、ノロギク、ハコベ属sp、ハハコグサ、ヒメジョオン、ヒメムカシヨモギ、ブタナ、フユイチ、ヘクソカズラ、ホウキギク、マツヨイグサ属sp、ヤエムグラ、ヤハズソウ、ヤブガラシ、ヤブタビラコ、ヨウシュヤマゴボウ、ヨモギ、ワルナスビ？

アオスゲsp、イグサ、イヌビエ、イネ科sp、エノログサ、オオクサキビ、カニツリグサ、カモジグサ、カヤツリグサ、カヤツリグサsp(コゴメガヤツリ?)、ギョウギシバ、キンエノコロ、クサキビ、コメシバ、ササガヤ、ササクサ、シナダレスズメガヤ、シバsp、スゲsp、ススキ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、スズメノヒエ、スズメノヤリ、セイバンモロコシ、チガヤ、チジミザサ、ツユクサ、トキワススキ、ナギナタガヤ、ニワゼキショウ、ヌカキビ、ヌカボ、ネザサ、ネジバナ、パーミューダグラス、マスクサ、ムカデシバ、メシバ、メリケンカルカヤ、ヤマノイモsp

**シダ植物** カニクサ、シダsp、ベニシダ





# 【 植生調査票 】

No.	箕面市芝188-7 P1 ウツギ谷人工林・上辺部				2021年9月24日	調査者：夏原、端、岡					
地形	1.山頂・2.尾根・3.斜面・4.中・5.下・6.凸・7.凹・8.台地・9.扇状地・10.平地・11.谷				風当	1.強・2.中・3.弱					
群系	1.高・2.低・3.植林・4.草・5.湿原：海（6.岸・7.浜）：河（8.岸・9.中）：池（10.岸・11.中）：12.路・13.水田・14.畑・15.堤：16.岩・17.樹上				日当	1.陽・2.中陰・3.陰					
					土湿	1.乾・2.過・3.湿・4.過湿					
土壌	1.ポド性・2.褐森・3.赤・4.黄・5.黄褐森・6.アンド・7.グライ・				露岩	—					
	8.沼沢・9.沖積・10.高湿草・11.非固岩屑・12.固岩屑・13.水面下				海拔	320m					
	階層	高さ(m)	植被率(%)	種数	傾斜方位	西北西					
T1	高木層	20~12	60	2	傾斜角度	40°					
T2	亜高木層	—	—	—	調査面積	15m×15m					
S1	低木層（第一層）	2~0.8	—	3	出現種数	20?					
S2	低木層（第二層）	—	—	—	備考						
H1	草本層（第一層）	0.8~	—	14							
H2	草本層（第二層）	—	—	—							
M	コケ層	—	—	1							
階層	D/S	種名	階層	D/S	種名	階層	D/S	種名	階層	D/S	種名
T1	3/3	スギ									
	3/3	ヒノキ									
S1	1/1	ヒサカキ									
	1/1	ソヨゴ									
	+	アカマツ									
H1	+	アラカシ									
	+	ヤマフジ									
	+	ニセアカシア									
	+	ヤブツバキ									
	+	イヌツゲ									
	+	アカメガシワ									
	+	ナンキンハゼ									
	+	コナラ									
	+	ハギの仲間									
	+	サルトリイバラ									
	+	ウラジロ									
	+	コシダ									
	+	ベニシダ									
	1/1	ササの仲間									
M	+	コケの仲間									

林床の低灌木類の伐採作業



除々に明るさを増してきた林内



第3次の1/2除伐でさらに照度を増した林内（所有地は奥の明るいエリア：別アングルから）

2025年度（3月申請）みのお山麓保全ファンド助成金活動 実績報告書  
公益社団法人 大阪自然環境保全協会 箕面市芝 188-7 山林（ウツギ谷）  
2025年4月～2026年3月

当法人が所有する箕面市芝 188-7、ウツギ谷の森林約 3300 m<sup>2</sup>はスギ、ヒノキの人工林（当初は計約 250 本）であるため、生物多様性を向上する目的で、強度に除伐し広葉樹林に転換していくことを目指して活動を継続した。

25年度は、これまでの除伐により照度が上昇した林床から実生木の発芽・生長を促す計画で、シカの食圧を防除する保護柵設置コドラート=10m×5mエリアを設定した。この枠内にはスギ3本、ヒノキ2本が残っていたため、すべて伐倒し、皆伐状態とした。

また、このコドラートにほぼ隣接する 10m×5mエリアを、防除保護柵を設置しない、発芽・生長の対照エリアとして設定し、杭打ちを行った。このエリアではシカの食圧の程度などを観察調査していく。

さらに、上記伐倒等の活動の前には、アプローチ林道の安全等の点検、枯木や落石の除去や、所有地東縁（勝尾寺）参道・登山道沿いの枯木処理、山林所有標示サインの更新などを行った。（活動日=1月10日・11日、2月22日=全体で延べ7人が参加した）

次年度以降は、シカ防除柵を設置し、広葉樹等の発芽・生長を調査、観察していく。



シカの食圧を防除する保護柵設置コドラート=10m×5mの計測、設定作業。左側は勝尾寺参道の登山道



特に上部の照度が上昇した林内。  
保護柵設置コドラートは上部の  
尾根部分に設定している